

# 2025年農林業センサスに向けた 検討の方向性（案）



### 【 調査項目の追加・拡充 】

次回農林業センサスの調査項目について、省内政策部門から新規要望を把握した上で、真に必要な項目(以下のいずれかに該当するもの)に限定して新規・拡充項目を設定

- ① 基本計画の策定や政策目標等に必要な指標であること
- ② 直接的な財政支出の基礎数値として活用するなど、法令上で利用が位置付けられる項目であること
- ③ 標本調査の母集団情報として必要な項目であること
- ④ 今後の政策の立案・推進の根幹に活用する項目であること

◆ 農産物の輸出が農林漁業者等をはじめとする地域の事業者の利益につながっていくことが重要であり、事業者の輸出実態の把握が必要

⇒ 農産物販売金額及び農業生産関連事業売上金額に占める輸出割合を把握する

◆ データを活用した農業経営の実態について現状及び施策効果の詳細把握が必要

⇒ 調査対象者が回答する際に、定義を正確に理解して記入できるよう、外部サービスやサポートを利用した際にデータ分析が活用されている実態等も正確に記入できるよう回答項目に拡充

◆ 再造林の促進の分析において立木販売分の伐採面積が必要

⇒ 保有山林における立木販売面積を把握する

等

## 【 調査項目の削減・縮小 】

調査項目数が増加することで調査対象や調査実施主体である地方自治体職員の負担が増すことから、利活用状況を把握し、利活用実績の乏しい調査項目については削除または簡素化

### ◆ 削除・簡素化する項目

⇒ 地域の集落営農組織への参加の有無、青色申告の継続年数、生産関連事業の従事日数、林業に従事した世帯員及び役員・構成員を男女別従事日数別に実人数で把握、農業に従事した世帯員及び役員・構成員の生産関連事業への従事を男女別に実人数で把握、常雇いを男女別年齢階層別に実人数で把握

等

## 【 2020年調査票における課題等 】

調査対象の負担軽減を図り、実査段階での未回答を防止する工夫

### ◆ 「農業」と「林業」の読み替えが分かりづらい

⇒ 読み替えをやめ、「農業」と「林業」で記入すべき項目が分かるように変更する

### ◆ 農業と農業生産関連事業の労働力を一括して把握しており、項目間で不整合が生じた

⇒ 農業と農業生産関連事業の労働力を完全に分けて把握する

### ◆ 多数の常雇いのいる法人等の経営体では補助票を活用した雇用者別の把握は困難

⇒ 雇用者別の把握をやめ、男女別年齢階層別の実人数を把握する

等

## 【農山村地域調査(農業集落)の廃止】

### 農山村地域調査のうち農業集落調査について廃止

#### ◆ 前回の調査の手法

⇒ 農業集落精通者に対し調査票を配布し、回収する調査又は調査員、職員による面接調査

#### ◆ 前回、調査票で把握した項目

⇒ ・寄り合いの開催と地域活動の実施状況  
・地域資源の保全  
・実行組合の有無

#### ◆ 前回、行政情報や民間データを活用し代替把握した項目

⇒ ・最も近いDID及び生活関連施設までの交通手段別所要時間  
・総戸数  
・総土地面積、耕地面積

## 【 その他 】

調査の実施から集計・公表に至る工程での課題を検討

(別途、民間委託により調査手法、調査内容、効果的な広報のあり方について検証業務を実施)

### ◆ 調査手法

⇒ 客体候補名簿による客体判定の効率化、オンライン回答を向上させるための手法

### ◆ 調査内容

⇒ 記入しやすく分かりやすい調査票等のレイアウト(OCR読み取り含む)、  
分かりやすい調査票の記入の仕方や調査員の手引き等の調査資材

### ◆ 効果的な広報のあり方

⇒ 農林業センサスに馴染む最新技術を使った広報活動の導入

### ◆ 集計・編集・公表

⇒ 経営体数の減少に伴う秘匿措置の増加への対応(秘匿方法の検討等)

等